

大雪に関する対応検証報告書

～ 平成 26 年 2 月 14 日～15 日の大雪の状況と対策について ～



りんご並木とトップヒルズ本町 [平成 26 年 2 月 15 日午前 8 時頃撮影 (積雪深 78 cm時の状況)]

平成 26 年 6 月

飯 田 市

はじめに

平成 26 年 2 月 14 日(金)朝から 15 日(土)午前中にかけて降った雪は、最深積雪 81 cmを記録する大雪となりました。

この降雪は、これまでの記録(平成 13 年 1 月 27 日の 56cm)を塗り替える観測史上最多であり、2 月 8 日に降った雪が 10 cm残っているところに、今回の雪が重なったことで記録的な積雪となりました。

積雪の観測は、1897 年(明治 30 年)8 月から行われており、今回観測された 81 cm は、過去 117 年間で最も深かった積雪ということになります。

この大雪により市内のあらゆる道路の除雪が遅れ、市民生活に多大な影響を及ぼしたほか、当地域の最大の生命線である中央自動車道が最長 81 時間通行止めになるという事態となり、県内では災害救助法が適用された地域もあるなど、大きな混乱が生まれました。

幸いなことに市内においては、大雪による死者こそ発生しなかったものの農業をはじめとした経済被害が生じたところです。

今回、この観測史上最深の降雪に対して、飯田市としてどのように対応し、どのような課題が生じたのかを検証し、今後発生する可能性のある同様の雪害に対して、いかに対処していくかの方向性を検討し取りまとめました。

平成 26 年 6 月

飯田市危機管理室

1 気象状況

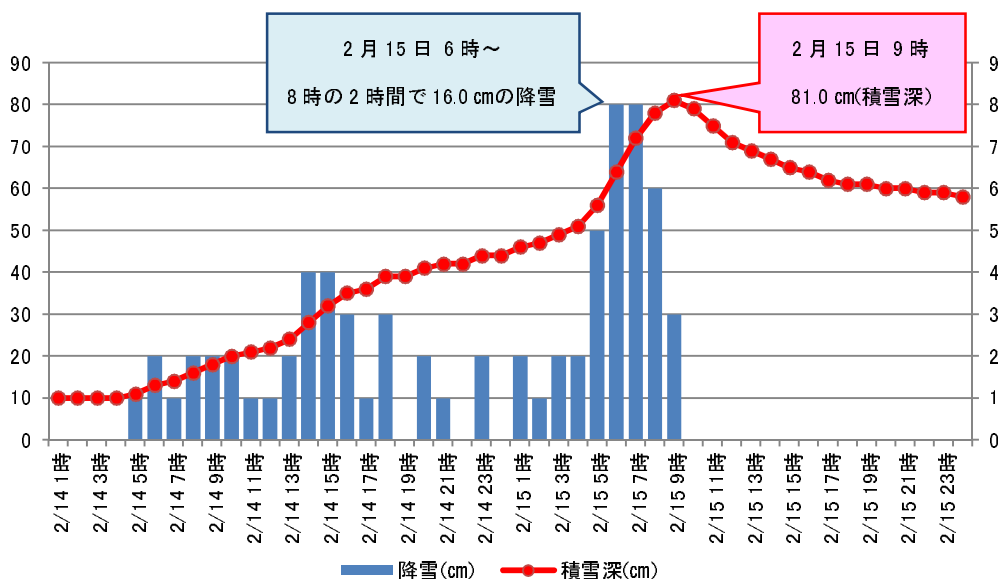
(1) 気象注意報・警報等の発表状況

月 日	時 刻	注意報・警報
2月14日(金)	4:50	大雪・なだれ・注意報発表
〃	10:50	大雪警報発表
2月15日(土)	4:22	風雪注意報発表
〃	12:35	大雪警報を解除 大雪注意報を発表
〃	16:53	大雪・着雪注意報を解除
2月16日(日)	4:20	風雪・なだれ注意報解除、強風注意報発表
〃	16:50	強風注意報解除

(2) 積雪深及び降水量の状況

- ❖ 当時市内では、2月8日の降雪（最深積雪 33 cm）により、降り始め時点で 10 cm の積雪が観測されている（図表 2 参照）。
- ❖ 最深積雪 81 cm（2月15日9時00分観測）（図表 2 参照）
- ❖ 平成 13 年 1 月 27 日の 56 cm を更新し観測史上最深（図表 5 参照）
- ❖ 下記表のうち「降水量」及び「累積降水量」については、平成 26 年 2 月 14 日・15 日に気象台が公表したもの
- ❖ 平成 26 年 2 月 16 日に降水量測定機器の不調が判明、平成 26 年 3 月 7 日に測定数値に信頼性がないと判断され、現在数値は公表されていない。

<図表 1：飯田市における降雪量及び積雪深(平成 26 年 2 月 14 日～15 日)>



【出典】気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)データをベースに危機管理室作成

<図表 2：飯田市における降雪量等データ(平成 26 年 2 月 14 日～15 日)>

日付	時	降水量	累積	気温	雪 (cm)		日付	時	降水量	累積	気温	雪 (cm)	
		(mm)	降水量		(mm)	降雪			積雪	(mm)		降水量	(mm)
2月14日	1 時	--	--	-0.9	--	10	2月15日	1 時	1.0	19.0	-0.8	2	46
2月14日	2 時	--	--	-1	--	10	2月15日	2 時	1.0	20.0	-0.6	1	47
2月14日	3 時	0.0	--	-1	--	10	2月15日	3 時	1.0	21.0	-0.6	2	49
2月14日	4 時	0.0	0.0	-1.9	--	10	2月15日	4 時	1.0	22.0	-0.5	2	51
2月14日	5 時	0.0	0.0	-2.1	1	11	2月15日	5 時	1.0	23.0	-0.6	5	56
2月14日	6 時	0.5	0.5	-2.6	2	13	2月15日	6 時	1.0	24.0	-0.6	8	64
2月14日	7 時	1.0	1.5	-3	1	14	2月15日	7 時	2.0	26.0	-0.4	8	72
2月14日	8 時	1.0	2.5	-2.8	2	16	2月15日	8 時	1.0	27.0	-0.1	6	78
2月14日	9 時	1.5	4.0	-3	2	18	2月15日	9 時	1.0	28.0	0.3	3	81
2月14日	10 時	1.0	5.0	-2.6	2	20	2月15日	10 時	0.0	28.0	1.1	--	79
2月14日	11 時	1.0	6.0	-2.4	1	21	2月15日	11 時	0.0	28.0	2.3	--	75
2月14日	12 時	0.0	6.0	-2.3	1	22	2月15日	12 時	--	--	2.3	--	71
2月14日	13 時	1.5	7.5	-2.3	2	24	2月15日	13 時	--	--	3.1	--	69
2月14日	14 時	0.5	8.0	-2.1	4	28	2月15日	14 時	--	--	3.3	--	67
2月14日	15 時	1.0	9.0	-2	4	32	2月15日	15 時	0.0	--	3.5	--	65
2月14日	16 時	1.0	10.0	-1.9	3	35	2月15日	16 時	0.0	--	3.1	--	64
2月14日	17 時	1.0	11.0	-1.7	1	36	2月15日	17 時	--	--	2.3	--	62
2月14日	18 時	1.0	12.0	-1.6	3	39	2月15日	18 時	--	--	1.6	--	61
2月14日	19 時	1.0	13.0	-1.5	--	39	2月15日	19 時	--	--	1.3	--	61
2月14日	20 時	1.0	14.0	-1.6	2	41	2月15日	20 時	--	--	0.8	--	60
2月14日	21 時	1.0	15.0	-1.5	1	42	2月15日	21 時	--	--	1.6	--	60
2月14日	22 時	0.5	15.5	-1.3	--	42	2月15日	22 時	--	--	1.9	--	59
2月14日	23 時	1.5	17.0	-1.2	2	44	2月15日	23 時	--	--	-0.1	--	59
2月14日	24 時	1.0	18.0	-1	--	44	2月15日	24 時	--	--	-0.8	--	58

※赤字部分は平成 13 年との比較ポイント、赤字・赤枠部分は、積雪深最多ポイント

※黄色枠部分は 2/14・2/15 の気象台公表数値、3/7 に測定数値に信頼性がないと判断され現在は未公表

<図表 3：参考近傍地点 諏訪市における降雪量等データ(平成 26 年 2 月 14 日～15 日)>

日付	時	降水量	累積	気温	雪 (cm)		日付	時	降水量	累積	気温	雪 (cm)	
		(mm)	降水量		(mm)	降雪			積雪	(mm)		降水量	(mm)
2月14日	1 時	--	--	-3.6	--	8	2月15日	1 時	3.5	20.0	-2.1	3	30
2月14日	2 時	--	--	-3.8	--	8	2月15日	2 時	1.5	21.5	-2.2	1	31
2月14日	3 時	0.0	--	-3.7	--	8	2月15日	3 時	0.5	22.0	-2.1	1	32
2月14日	4 時	--	--	-3.8	--	8	2月15日	4 時	1.0	23.0	-2.0	2	34
2月14日	5 時	0.0	--	-3.8	--	8	2月15日	5 時	1.5	24.5	-2.0	1	35
2月14日	6 時	0.0	--	-3.8	--	8	2月15日	6 時	4.0	28.5	-1.5	7	42
2月14日	7 時	0.0	0.0	-4.4	1	9	2月15日	7 時	2.5	31.0	-1.1	3	45
2月14日	8 時	1.0	1.0	-4.4	1	10	2月15日	8 時	3.5	34.5	-0.5	4	49
2月14日	9 時	0.5	1.5	-4.5	1	11	2月15日	9 時	3.0	37.5	-0.3	3	52
2月14日	10 時	1.0	2.5	-4.3	1	12	2月15日	10 時	0.5	38.0	0.6	--	52
2月14日	11 時	0.5	3.0	-4.1	1	13	2月15日	11 時	0.0	38.0	1.2	--	50
2月14日	12 時	0.0	3.0	-3.7	--	13	2月15日	12 時	0.0	--	0.2	--	48
2月14日	13 時	0.0	3.0	-3.8	--	13	2月15日	13 時	0.0	--	-0.1	--	47
2月14日	14 時	0.5	3.5	-3.5	--	13	2月15日	14 時	0.0	--	-0.2	--	46
2月14日	15 時	0.0	3.5	-3.5	1	14	2月15日	15 時	0.0	--	-0.4	--	46
2月14日	16 時	1.0	4.5	-3.4	1	15	2月15日	16 時	0.0	--	-0.7	--	45
2月14日	17 時	1.0	5.5	-3.4	2	17	2月15日	17 時	0.0	--	-0.8	--	45
2月14日	18 時	0.5	6.0	-3.3	1	18	2月15日	18 時	--	--	-0.8	--	45
2月14日	19 時	1.0	7.0	-3.2	2	20	2月15日	19 時	--	--	-0.8	--	44
2月14日	20 時	0.5	7.5	-3.2	2	22	2月15日	20 時	0.0	--	-1.0	--	44
2月14日	21 時	1.5	9.0	-3.0	1	23	2月15日	21 時	--	--	-1.2	--	44
2月14日	22 時	2.0	11.0	-2.1	2	25	2月15日	22 時	0.0	--	-0.9	--	44
2月14日	23 時	3.0	14.0	-2.1	1	26	2月15日	23 時	0.0	--	-1.1	--	44
2月14日	24 時	2.5	16.5	-2.1	1	27	2月15日	24 時	0.0	--	-1.6	--	44

＜図表 4：参考地点 甲府市における降雪量等データ(平成 26 年 2 月 14 日～15 日)＞

日付	時	降水量	累積 降水量	気温 (°C)	雪 (cm)	
		(mm)	(mm)		降雪	積雪
2月14日	1 時	--	--	2.1	--	2
2月14日	2 時	--	--	1.9	--	2
2月14日	3 時	--	--	1.7	--	2
2月14日	4 時	--	--	1.6	--	2
2月14日	5 時	--	--	1.5	--	2
2月14日	6 時	0.0	--	-0.3	1	3
2月14日	7 時	1.0	1.0	-0.6	1	4
2月14日	8 時	1.5	2.5	-0.7	2	6
2月14日	9 時	1.5	4.0	-0.5	2	8
2月14日	10 時	1.0	5.0	-0.4	1	9
2月14日	11 時	1.0	6.0	-0.2	2	11
2月14日	12 時	2.0	8.0	-0.2	5	16
2月14日	13 時	3.0	11.0	-0.2	6	22
2月14日	14 時	2.0	13.0	-0.3	2	24
2月14日	15 時	3.0	16.0	-0.4	5	29
2月14日	16 時	3.5	19.5	-0.2	7	36
2月14日	17 時	4.0	23.5	-0.1	8	44
2月14日	18 時	3.0	26.5	-0.1	5	49
2月14日	19 時	3.0	29.5	-0.1	5	54
2月14日	20 時	5.0	34.5	-0.1	3	57
2月14日	21 時	4.5	39.0	-0.2	6	63
2月14日	22 時	5.0	44.0	-0.1	5	68
2月14日	23 時	6.0	50.0	-0.1	8	76
2月14日	24 時	8.0	58.0	-0.1	9	85
2月15日	1 時	6.0	64.0	-0.2	6	91
2月15日	2 時	4.0	68.0	-0.1	4	95
2月15日	3 時	3.0	71.0	-0.2	3	98
2月15日	4 時	3.0	74.0	-0.5	3	101
2月15日	5 時	5.5	79.5	-0.5	6	107
2月15日	6 時	5.0	84.5	-0.4	2	109
2月15日	7 時	3.5	88.0	0.1	1	110
2月15日	8 時	4.0	92.0	0.1	1	111
2月15日	9 時	4.5	96.5	0.3	3	114
2月15日	10 時	1.0	97.5	1.3	--	112
2月15日	11 時	0.5	98.0	2.8	--	108
2月15日	12 時	--	--	3.4	--	105
2月15日	13 時	--	--	3.6	--	101
2月15日	14 時	--	--	4.2	--	99
2月15日	15 時	--	--	4.4	--	96
2月15日	16 時	--	--	5.0	--	94
2月15日	17 時	--	--	4.3	--	93
2月15日	18 時	0.5	98.5	5.6	--	91
2月15日	19 時	0.0	98.5	4.2	--	89
2月15日	20 時	--	--	4.0	--	89
2月15日	21 時	--	--	4.3	--	88
2月15日	22 時	--	--	4.0	--	87
2月15日	23 時	--	--	4.1	--	86
2月15日	24 時	--	--	4.1	--	85

＜図表 5：飯田市における平成 13 年大雪時とのデータ比較＞

■平成 13 年 1 月データ

■平成 26 年 2 月データ

日付	時	降水量	累積 降水量	気温 (°C)	雪 (cm)	
		(mm)	(mm)		降雪	積雪
1月27日	9 時	3.0	14.0	-0.5	15	22
1月27日	15 時	7.0	35.5	-0.3	22	43
1月27日	21 時	--	48.5	-1.6	13	56
1月28日	9 時	--	48.5	-2.1	0	51
1月28日	15 時	0.0	48.5	2.5	0	45
1月28日	21 時	0.0	48.5	0.0	0	43
2月14日	9 時	1.5	4.0	-3.0	2	18
2月14日	15 時	1.0	9.0	-2.0	4	32
2月14日	21 時	1.0	15.0	-1.5	1	42
2月15日	9 時	1.0	28.0	0.3	3	81
2月15日	15 時	0.0	--	3.5	--	65
2月15日	21 時	--	--	1.6	--	60

図表 2～5 の【出典】 気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)データをベースに危機管理室作成

2 被害の状況

(1) 人的被害

死	者	なし	
行方不明者		なし	
負傷者	重傷	1人	※14日 15:01 大瀬木 70歳代 男性 屋根の雪下ろし中の転落事故
	軽傷	3人	※14日 11:25 上郷別府 70歳代 男性 屋根除雪中脚立から落下
			※14日 14:02 松尾代田 90歳代 女性 除雪作業中用具に頭をぶつける ※17日 11:45 山本竹佐 60歳代 男性 ベランダでの除雪作業中の転落
	小計	4人	
計		4人	

(2) 建物被害

全壊		なし	
半壊		なし	
一部損壊	棟	19棟	※住宅屋根・瓦・樋の一部破損
	世帯	19世帯	
	人員	47人	
非住家の被害		24棟	※アーケード破損(破損箇所別記) ※カーポート全壊:7棟 ※事業用ビニールハウス全壊:5棟 ※物置・車庫全壊:3棟 ※事務所壁の損傷:1棟

<図表6：被害を受けたアーケードの状況>

整理No. 状況	商店街等団体名	事業内容 (施工箇所)	事業費 *消費税別
1 完了	伝馬町1丁目商栄会	アーケード天板等補修 (村田屋酒店前)	250,000円
2 完了	伝馬町1丁目商栄会	アーケード天板等補修 (小西カメラ前)	355,000円
3 完了	伝馬町2丁目アーケード組合	アーケード撤去 (八十二銀行伝馬町店前)	1,140,000円
4 完了	サンロード八幡商店街	天井シート補修 (北原履物店前)	230,800円
5 完了	桜町アーケード組合	アーケード支柱補修 (桜町駅前)	515,000円

6 完了	知久町 3 丁目商栄会	アーケード屋根等補修 (うれ志野餅店前)	900,000 円
7 完了	ユニー通り商店街	テント張替	920,000 円
8 工事中	昭和発展会	アーケード支柱等補修 (中央通 3 丁目はしもとや前)	1,801,254 円
合 計			6,112,054 円

＜図表 7：罹災証明書発行状況＞

家屋(屋根・雨樋等)	26 件
車庫(カーポート等)	8 件
物 置	4 件
農業用ハウス・畜舎	9 件
合 計	47 件

※図表 7 及び 8 は平成 26 年 6 月 13 日現在

＜図表 8：罹災証明書発行地区別状況＞

地 区	件 数	地 区	件 数
橋 北	2 件	龍 江	-
橋 南	3 件	竜 丘	3 件
羽 場	4 件	川 路	1 件
丸 山	1 件	三 穂	2 件
東 野	3 件	山 本	3 件
座光寺	2 件	伊賀良	9 件
松 尾	3 件	鼎	9 件
下久堅	-	上 郷	1 件
上久堅	1 件	上 村	-
千 代	-	南信濃	-

(3) 農業被害

※平成 26 年 5 月 16 日時点での数値

被 害 件 数	340 件	
農作物	面 積	2.32ha
被 害	被 害 額	5,520 千円
生産施	棟 数	519 棟
設被害	被 害 額	473,234 千円
		※ビニールハウス、畜舎等
		※被害額は、再建や修繕に係る事業費の見込みである

(4) 補正予算の状況

(千円)

項 目	事業費			備 考
		補助金	一般財源	
除 雪	234,894	77,500	157,394	
復 旧	465,911	345,511	120,400	※農業関係：447,779 千円 ※商業関係：3,057 千円 ※教育関係：15,075 千円
合 計	700,805	423,011	277,794	

※財政課「平成 25 年度災害の状況」による

(5) 公共交通機関の状況

① 中央自動車道の状況

※最長通行止め時間：延べ81 時間

上り線小淵沢 IC～須玉 IC 14 日 13：45 ～ 17 日 23：00)

2/14 06：35 チェーン規制開始

2/14 急激な降雪と事故により午後（13：45 小淵沢 IC～須玉 IC（上））より、順次、通行止め開始

2/15 02：05 高井戸 IC～中津川 IC 通行止め開始

2/15 23：30 飯田 IC～中津川 IC（上下）通行止め解除

2/17 07：00 諏訪 IC～飯田 IC（上下）通行止め解除

2/17 11：30 高井戸 IC～八王子 IC（上下）通行止め解除

2/17 23：00 八王子 IC～諏訪 IC（上下）通行止め解除をもって中央道全線解除

【出典】2014 年 2 月 26 日 中日本高速道路株式会社 定例記者会見資料

＜図表 9：中央自動車道の通行止め及び通行止め解除の状況＞



② JR 飯田線の状況

- 2/15 08:00 現在 中部天竜駅～辰野駅間 始発から 15 時まで運転を見合わせ
豊橋駅～中部天竜駅間一部の列車運休
- 2/16 17:00 現在 中部天竜駅～辰野駅間 運転を終日見合せ
豊橋駅～中部天竜間 通常より本数を減らして運転
- 2/17 17:00 現在 天竜峡駅～伊那松島駅間 折り返し運転
水窪駅～天竜峡駅間 終日運休
- 2/18 17:00 現在 全線通常運行

③ 高速バスの状況

- 2/15 08:00 現在 新宿・立川・長野線 上下線とも終日全便運休
名古屋線(飯田発) 8:34 9:34 10:34 11:34 12:34 の便が運休
名古屋線(名古屋発) 8:00 9:00 10:00 11:00 の便が運休
大阪線 大阪→箕輪 8:30 の便が運休
横浜線 午前中運休
- 2/15 17:00 現在 新宿・名古屋・長野・大阪・横浜・立川・甲府線
上下線とも終日運休
- 2/16 17:00 現在 新宿・長野・大阪・横浜・立川・甲府線上下線とも終日運休
名古屋線 9:00 から運行再開
- 2/17 17:00 現在 新宿・長野・大阪・横浜・立川・甲府線上下線とも終日運休
- 2/18 17:00 現在 新宿・長野・大阪・横浜・立川・甲府線上下線とも終日運休
- 2/20 10:30 現在 甲府線の一部を除き通常運行

④ 市民バスの状況

- 2/15 08:00 現在 運転見合わせ
- 2/15 17:00 現在 終日運休
- 2/16 17:00 現在 終日運休
- 2/17 17:00 現在
- 【遠山郷線】運行
 - 【平岡線】運休
 - 【市内循環線】運行
 - 【大休線】運行
 - 【千代線】運行(閉鎖停留所有)
 - 【久堅線】運行(閉鎖停留所有)
 - 【三穂線】運行(閉鎖停留所有)
 - 【駒場線】運行(バイパス運行、閉鎖停留所有)
 - 【阿島線】運行(経由運行、閉鎖停留所有)

2/18 17:00 現在

【遠山郷線】運行 【平岡線】運行 【市内循環線】運行
【大休線】運行 【千代線】運行 【久堅線】運行
【三穂線】運行 【駒場線】運行（バイパス運行、閉鎖停留所有）
【阿島線】運行（経由運行、閉鎖停留所有）

2/20 10:30 現在

【遠山郷線】運行 【平岡線】運行 【市内循環線】運行
【大休線】運行 【千代線】運行 【久堅線】運行
【三穂線】運行 【駒場線】運行（バイパス運行、閉鎖停留所有）
【阿島線】運行（経由運行、閉鎖停留所有）

⑤ 乗り合いタクシーの状況

2/15 08:00 現在 平岡線 運休

2/15 17:00 現在 平岡線 運休

2/16 17:00 現在 平岡線 運休

2/17 17:00 現在 全面運行

2/18 17:00 現在 全面運行

2/20 10:30 現在 全面運行

⑥ 道路状況

2/14 07:30 水の手通りの県営住宅付近で倒木による通行止め

→07:40 水の手通り通行止め解除

2/14 08:00 上村3号線 上村小学校～上島 積雪のため車両通行止め

→2/16 現在 通行可能

2/14 08:00 南信濃押出～小道木橋 雪崩れのため通行止め

→2/16 現在 通行可能

2/14 08:45 三遠南信道 積雪のため飯田山本 IC～天竜峡 IC 通行止め

→14:45 通行止め解除

2/14 10:55 県道上飯田線矢筈ダム付近で雪崩により通行止め

→14:10 通行止め解除

3 態勢及び各部の対応状況と課題

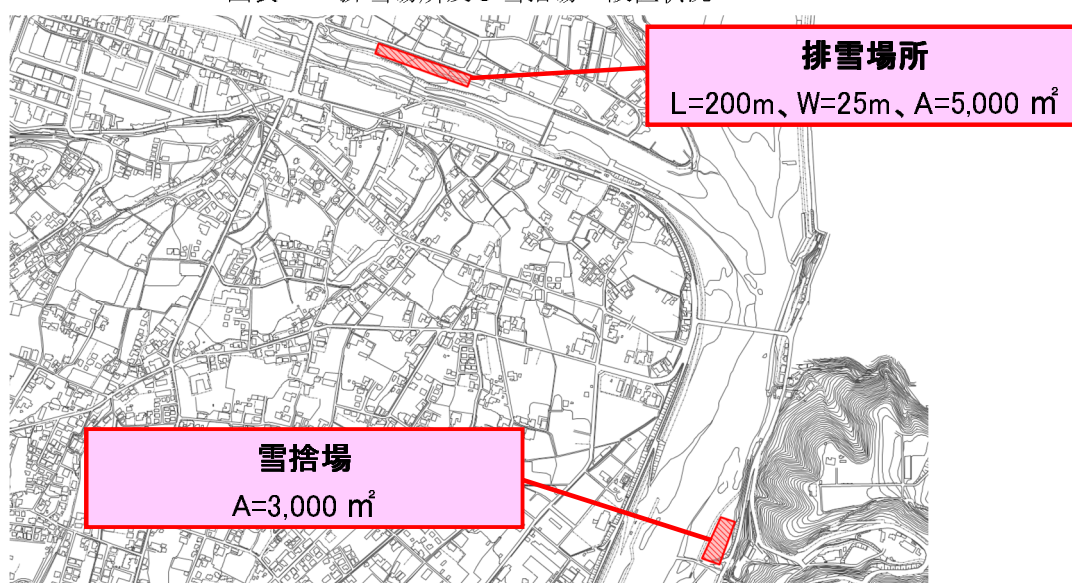
(1) 市の態勢

- 2/14 危機管理・交通安全対策室 3 名、建設部土木課 3 名
委託業者により市道約 220 路線を順次除雪作業開始
- 2/15 05:55 事前配備発令（各部主管課長、自治振興センター職員を招集）
09:15 災害警戒本部設置（最終参集人員 276 名）
- 2/17 罹災証明書発行準備開始
- 2/18 雪捨場開設（詳細は下記参照）
- 2/20 09:30 災害警戒本部を閉鎖、通常態勢へ移行

排雪場所及び雪捨場の設置について

- ❖ 排雪場所（道路除雪等で排出された雪の捨場[除雪業者専用]）については、平成 25 年 10 月末の飯田建設事務所長あて届出にもとづき随時使用、除雪作業迅速化のため緊急的に雪の仮置き場として中央公園の一部(多目的広場 [50m 市民プール跡広場])を使用し、排雪取扱量としては推計で約 12,000 m³であった。
- ❖ 雪が降りやみ、除雪作業が進む 2 月 16 日より、雪捨場（個人宅、事業所等で排出される雪の捨場[市民向け]）の設置について検討開始し、17 日 天竜川上流河川事務所に「河川区域内行為届出書」を提出、18 日より開設し、排雪量としては約 550 m³であった。
 - ※期間 平成 26 年 2 月 18 日（火）から 2 月 28 日（金）まで（22 日・23 日も開設）
 - ※時間 午前 8 時から午後 5 時まで（夜間は閉鎖）
 - ※場所 天竜川左岸 下久堅河川敷（弁天港の反対側）

< 図表 10 : 排雪場所及び雪捨場の設置状況 >



(2) 各部署の対応状況と課題 (組織名称は大雪当時の名称、カッコ内は現在の組織名称)

【総務部(市民協働環境部)】

地域づくり・庶務課(ムトスまちづくり推進課)

○対応状況

■各自治振興センター及び公民館施設の駐車場の除雪

■来庁者駐車場、公用車駐車場の除雪

(事業者による来庁者駐車場の雪かき、職員による公用車駐車場の雪かき)

■各地区別対応状況

橋 北	施設の除雪と連絡調整
橋 南	施設の除雪と連絡調整
羽 場	施設の除雪と連絡調整／通院(人工透析)を要する住民支援(自治会による市道除雪)
丸 山	施設の除雪と連絡調整
東 野	施設の除雪と連絡調整
座光寺	施設の除雪と連絡調整
松 尾	施設の除雪と連絡調整／独居世帯安否確認、非常食3食(1戸)を手配
下久堅	施設の除雪と連絡調整／地区内幹線の内、必要個所をまちづくり委員会にて除雪
上久堅	施設の除雪と連絡調整／民生児童委員による独居高齢者世帯の安否確認／まちづくり委員会や区等における除雪(一部建設業者に委託)
千 代	施設の除雪と連絡調整／畜産業者の機材を使用するなど地域で除雪活動
龍 江	施設の除雪と連絡調整／地区として、重機を持っている事業者への除雪協力
竜 丘	施設の除雪と連絡調整
川 路	施設の除雪と連絡調整／停電に対する問合せ(15件ほど)対応
三 穂	施設の除雪と連絡調整／通行止め道路への対応
山 本	施設の除雪と連絡調整／自主防災会を通じた連絡体制を整えた／区等による除雪(事業者委託あり)／民生児童委員による食事困窮者の確認(該当なし)
伊賀良	施設の除雪と連絡調整／地区として、独居世帯からの要請による除雪
鼎	施設の除雪と連絡調整／水路氾濫箇所の現地対応(センター職員)
上 郷	施設の除雪と連絡調整
上 村	施設の除雪と連絡調整／除雪(事業者)等の手配 除雪状況について防災行政無線による情報提供／孤立が予想される地区の戸別安否確認・食料確認／停電について、防災行政無線による情報提供
南信濃	施設の除雪と連絡調整／民生児童委員による、独居高齢者世帯の安否確認／給食センター(小中学校の給食)の搬入路の除雪／除雪事業者等の手配／防災無線による情報提供／独居・高齢者世帯への非常食配布(3戸)

○必要な支援策（まちづくり員会等に対して）

- 地区内で使える機材等の把握をし、活用できる体制づくりへの協力
- 災害時の基準を超えた大雪時など、まちづくり委員会等が除雪路線の優先順位を定めて除雪ができる計画づくりへの支援と協力

○今後に向けての課題、提案

- 福祉や医療、環境、教育関係団体などからの意見についても、幅広い視点からまちづくり委員会と情報共有していく。

市民課

○対応状況

- 15日（土）は「りんご庁舎市民証明コーナー」の窓口の開設日であり、出勤可能な徒歩通勤の職員で対応

【産業経済部】**農業課****○対応状況**

- 13日：降雪による被害防止対策の注意喚起（生産団体から生産者へ）
- 14日 10:50：飯田市農作物等災害対策本部設置（農業課内）
農作物自然災害情報メール、安心ほっとライン（CATV 網による音声告知端末放送システム）、いいだFM（コミュニティ放送）、ICTV データ放送等により注意喚起
- 15日：道路状況により現地被害調査が困難であったため電話聞き取りによる調査
- 16～18日：被害現地調査
- 24日：理事者現地視察

○必要な支援策

- JA と連携し、職員による倒壊したハウス等の撤去作業の手伝いを実施
- 農業生産施設の復旧・修繕対策支援
農業生産施設（農業用ハウス、きのこ栽培用ハウス、畜舎、果樹棚等）の復旧・修繕（附带実施の撤去費を含む）に要する経費への助成
- 農作物被害対策
代作用作物種苗の購入補助
雪害対策用燃料や廃プラ処分等への補助
- 被害農業者の経営安定対策
農協等が被災者に行なう雪害対策資金の無利子化に必要な助成

○今後に向けての課題、提案

- 農家支援の推進
農業を継続できる支援策の推進に努める。
- 農業用気象情報システムの研究
災害に備えるため、中学校区単位程度の区域における気象状況の推移や今後の予測等について常時確認できるシステムの構築に向け、県や関係団体と連携し研究を進める。

林務課

○対応状況

- 林道や森林施業地等における積雪被害の有無及び状況の把握を実施
- 積雪のため容易に現場へ入ることができなかったが、関係事業者等と連携して情報収集に努めた。
- 結果的に人的被害や直接生活に影響を与える被害は確認されなかった。

○必要な支援策

- 森林や里山の保全に係る大雪被害の状況把握と対策の支援
- 積雪に起因する二次災害の防止

商業・市街地活性化課

○対応状況

- 被害を受けた商店街アーケード等を職員が踏査により状況確認し、設置者や管理者から補修等の要望や意向を聞いて、補助金等の支援により商店街アーケードの補修・撤去を図り、事故やトラブルなどはなく事業が実施された。

○必要な支援策

- 商店街や商栄会で共同管理しているアーケード等に対して、平成 26 年 2 月の大雪により損壊等を受けたアーケード等の補修・撤去に要した経費に対して、市費補助金を交付した。
- 個人商店の差し掛け部テントなどの破損の修繕費用に対しては、要望により災害対策にかかる制度資金などを案内する（金融政策課）。

○今後に向けての課題、提案

- 補修・撤去事業の実施においては、商店等の営業再開や生活回復を急ぐことはもとより、二次的な事故防止や歩行者の安全確保に配慮することを指導する。
- 中心市街地等における商店街アーケードは、設置から 20 年以上を経過したものが大半であり、老朽化も著しい状況にある。将来において、維持管理などに課題がある。今後の中長期的な視点に立って、対策などを研究・検討する。

地方卸売市場 商業・市街地活性課

○対応状況

- 地方卸売市場内の市道等の除雪作業は、卸売業者の関係者が個別対応、食品流通機能の早期回復を図った。

○今後に向けての課題、提案

- 地域の物流機能の要となる卸売市場及び卸売業協同組合に対し、市内基幹道路の除雪状況、雪捨場の設置状況等の情報提供を迅速に行える態勢づくりを進める必要がある。

観光課

○対応状況

- 市役所前大型バス駐車場の除雪を業者委託
- 上村地区の観光施設 2 か所の被害に対応
- 山本杵原学校の屋根に被害あり、修繕対応（事業費 1,014,000 円）
- 天龍峡の遊歩道については、除雪ができなかったためバリケードによる通行禁止

○今後に向けての課題、提案

- 懸念される課題として、地域外から訪れていた観光客への避難情報、交通情報等の提供のあり方、避難を要する事態となった場合の避難誘導のあり方等について検討が必要。

工業課

○対応状況

- 産業団地の見回り（除雪状況、支障木の状況、融雪剤の在庫確認等）
- 緊急時対応業者への連絡対応を依頼

○今後に向けての課題、提案

- 地域内の企業数社から、製造業における原材料・資材、製品（部品）の在庫量は、おおよそ 2 日程度であり、物流の要となる主要路線（高速道路、国道、県道）については、できる限り早期に復旧するよう要望があった。

【建設部】**建設管理課(管理課)****○対応状況**

- 主要幹線道路や緊急輸送路等の一部について除雪、融雪剤散布路線としており、除雪、融雪剤散布を地元業者に委託。除雪経費は約 181,200 千円となった。
- 除雪路線は 200 路線、延長約 230 km を 52 業者に委託、その他の路線については、市民協力により除雪・融雪を進めた。
- 融雪剤散布路線として 73 路線、約 100 km を 13 業者に委託
- 市内業者の 24 時間体制により対応
- 狭隘な場所等の対策として、幅員確保、待避所を設けるための排雪、著しく通行に支障がある場所の排雪を進めた。
- 雪解け水による路面凍結の防止、圧雪、凍結している箇所等へ融雪剤の散布を継続的に行い、安全な交通の確保に努めた。
- 大量の排雪となったため、臨時的な場所の確保を行った。

土木課**○対応状況**

- 除融雪指定路線（主要幹線道路や緊急輸送路等）について、委託業者により「除融雪業務実施要領」に基づき実施
- 前日に降雪が予想されたため委託業者に出動基準により作業開始するよう指示
- 土木課職員態勢は、2月8日及び14～15日の豪雪とも休日であったため出勤可能な全職員により対応
- 除雪路線の除雪状況調査（業者からの聞き取り及び実施状況のパトロール）、倒木対応、水路の雪詰まりによる越水対応、電話等による降雪に対する問合せ対応等について実施
- 銀座、知久町等路肩が狭く商店街等で除雪スペースが無い路線は、排雪による除雪対応を実施

○今後に向けての課題、提案

- 市民が除雪した雪を水路に捨てたことが原因と思われる水路詰まりによる越水被害が発生している。雪を水路、河川に捨てないよう周知徹底が必要
 - ※同報系防災行政無線による広報は実施
 - ※多くの業者は除雪対応しているため、越水被害に緊急対応可能な業者は少ない

- 道路の除雪後に、個人敷地の雪を道路に出す市民が見受けられ、安全・安心な道路交通の確保に支障が出て、通行している市民、物流業者等から苦情が寄せられた。
- 今回のような大雪時は、土木課職員総動員で対応しているが、市道除雪以外の問合せが多数寄せられた。豪雪時には雪全般の受付窓口を設け、関係部署に転送するなどの態勢を検討する必要がある。
- 建設業界全般的に、建設機械を自社保有からリースに切り替えている上に、建設事業の減少により機械を運転するオペレーターも減少している。今後の除雪体制（委託業者）の維持に課題がある。

○その他

- 4月25日に飯田建設事務所管内の国、県市町村道に関する豪雪に対する事後検証ワーキンググループ検討会議があった。各道路管理者、交通管理者（警察）からの意見として、「除雪の優先順位（国、県、市町村道）、委託業者の重複について」、「広域的な除雪状況（通行の可否）の情報公開の必要性（ホームページ、道の駅等各媒体を利用）について」、「排雪場所（住民用）の確保について」、「迂回路、平行した代替え路線がある場合は通行止めを視野に除雪対応の実施について」、「委託業者の体力低下（機械の不足、オペレーターの不足）について」「幹線道路以外の生活道路、歩道の除雪について」等が出された。飯田建設事務所は、ワーキンググループ検討会議の意見を集約し、全県的な検証会議の場で協議を進めることとしている。

【水道環境部(市民協働環境部)】**環境課****【塵芥収集について】**

○対応状況

■平日の集積所収集

上、南信濃地区について、2月17日(月)～19日(水)の収集中止
その他の地区は、委託業者の軽トラック対応などにより収集

■サイクルステーション(土曜日開設)について

14日(金)の段階で、各自治振興センター等へ、回収困難な場合は翌月曜日まで置いてもらうよう連絡、15日(土)回収は中止し、月曜日以降の対応とした。

■生ごみ収集(バケツ収集)について

18日(火)の収集を中止

【飯田市斎苑(火葬場)について】

○対応状況

■敷地及び文化会館より北のアクセス市道進入不能、午前中は稼働できない旨、葬祭業者に伝達、緊急除雪依頼するも即時対応は難しい。

■当日の火葬を翌日に回すことはできなく、斎苑所在地域を含む、除雪担当業者に直接依頼し、緊急除雪作業実施

■午前10時半ごろには稼働可能状態まで復旧、午前中の火葬予定を午後に回し対応

○今後に向けての課題、提案

■斎苑所在地は、市街地から離れており、除雪が後回しになっているが、火葬業務は止めることができないため、除雪の優先順位を上位にする必要性

【最終処分場について】

○対応状況

■搬入受付及び除雪

2月15日(土)16日(日)は休業日のため、ごみの搬入はなし

ゴミ収集車の搬入路、県道1号線は管理者の委託業者で、2月16日中に車線確保分の除雪

県道1号線から処分場の市道(千代70号線)は、16日(日)終日、職員がホイールローダーにて1車線確保の除雪。17日(月)は通常通り、搬入を受付

受入台数6台 翌18日受入台数7台

■処分場内の状況

16 日：入場ゲートから埋立場まで 1 車線確保の除雪を職員がホイールローダーにて実施

17 日（月） 搬入車両は埋立場まで搬入、ごみについては展開必要スペースを除雪し埋立、浸出水処理棟までの道路は 17 日に除雪

浸出水処理棟においては、2 月 15 日（土）7:25 頃停電により、計装、動力関係が稼働停止。7:31 頃復電、動力は、稼働停止のまま、維持管理業者が出動し再稼働、他の機器点検し通常稼働

■災害ごみの受け入れ

豪雪による一般家庭災害ごみの減免受付のお知らせを、2 月 18 日のホームページで掲載、罹災証明により減免を受付けた件数は 2 件

○今後に向けての課題、提案**■職員体制の課題と提案**

機器操作資格の課題

除雪機器運転資格（ホイールローダー・大特免許）がある職員は 2 名、専門ではない。

■除雪の課題と提案

搬入道路の除雪の課題

平常の操業日であれば、市道（千代 70 号線）及び場内・埋立スペースの除雪が課題
市道（千代 70 号線）を除雪路線に位置づける必要がある。

処分場職員による場内・埋立スペースの早期除雪

飯田市水道局（上下水道局）**○対応状況**

■米川浄水場取水量低下…9:10 取水口の雪の除去作業を業者依頼 11:15 復旧

■妙琴浄水場取水量低下…9:00 松川ダムよりの放流を依頼 10:30 復旧

■野底浄水場取水量低下…9:00 浄配水施設委託業者へ対応依頼 12:45 復旧

■遠山簡易水道通信異常…7:40 停電により中央監視装置障害復旧作業 9:40 復帰

下栗浄水場では水量が復帰せず配水区域の家屋へ電話による確認を実施

■遠山簡易水道施設…市道の水道施設までの間の除雪作業を遠山地区担当者が実施

（2 月 15 日～21 日）

○今後に向けての課題、提案

■降雪による取水口の閉塞等により取水が出来なくなるため、水道取水施設までの市路について、優先的な除雪及び倒木除去等による通行確保が必要である。

【保健福祉部(健康福祉部)】

福祉課

○対応状況

■要援護者の安否確認及び要支援への対応

※午前 8 時頃、職員緊急連絡網を通じて、「日頃の状況を勘案して、主に独居高齢者及び支援が必要と思われる要援護者の安否確認を電話等で行い、要支援事案があれば、福祉課の各地区民児協担当者に連絡」という安否確認要請を市内 20 地区の民生児童委員協議会長へ行った。

※午後 1 時過ぎから、福祉課地区民児協担当職員が、全民生委員・児童委員に電話で、安否確認及び要支援の有無について、状況を確認

※現地訪問を要する事案が 2 件あり、午後 3 時頃から、職員と担当民生委員・児童委員が、直接訪問して安全を確認

※食料の備蓄が乏しい独居高齢者女性(90 歳)直接本人に非常用食料を届けるとともに、介護サービス事業者に当面の訪問、食料提供を依頼

※連絡がつかなかった独居高齢者女性(75 歳)直接本人に会い、食料燃料等の備蓄が十分であり、本人も元気である様子を確認

※15 日午後 5 時～17 日午前 8 時 30 分までの緊急対応要請は、市役所当直者を通じて、福祉課長補佐に連絡が入り地区担当職員が出動できる態勢を整えた。

■食料等配送サービスの遅延等事態への対応

※17 日午前 8 時 30 分過ぎ、民生委員・児童委員から「食材配送サービスを利用している市民が、1 週間程度の無配状態になるらしい。」という情報の提供

※保健福祉部内の部課長課長補佐会議(17 日午前 9 時招集)において、対応方を協議。事業者への状況確認、万々に備えての災害備蓄非常食が配布できる態勢確保を行う。

※市内の食材配送サービス事業者と配食サービス事業者に対応状況を確認。配達を中止するエリアはないが、道路の積雪状態により届けられない家があるかも知れないとのこと

※各地区民児協会長と自治振興センター所長に対して、食料確保が困難な人への非常用備蓄食糧の提供等の対応態勢を確保することを要請

■福祉施設(市有)の運営状況及び雪害対策応援の有無の確認対応

※15 日 11 時より、警戒本部の指示(原則として 17 日からは平常業務が可能な状態にする)を受け、各課所管の施設に雪かき態勢を確保するように指示

※6 カ所の福祉企業センター長に、15 日か 16 日に職員を動員し雪かきを実施、17 日からの平常業務の確保を図るように指示(今宮・上村 15 日、残り 16 日に対応)

※福祉会館は、指定管理者(市社協)が 15・16 日に職員と業者で雪かきを実施

○必要な支援策（今後に向けての課題、提案も含む）

- 要援護者の安否確認及び支援の方法、ルール、態勢等の整備
 - ※民生児童委員に依頼する場合の決定手続き、費用弁償、保険等
 - ※職員が現地に赴く場合の装備や機材の確保
 - ※自主防災組織との連携あるいは役割分担のあり方
 - ※要援護者に対する緊急的な食糧提供の仕組みづくり（支援要請のルール、自治振興センターからの配給態勢、民間事業者との連携あるいは役割分担のあり方など）
- 大雪による行動制限やライフライン停止状態が長期化した場合の対策
- 要援護者の食糧や燃料等の確保と提供体制の整備
- 生命や健康状態を維持するための機器の稼働や通院を支援する対策

子育て支援課

○対応状況

- 14日同日開催予定の第3回発達支援推進会議を延期決定、関係者へ連絡
- 15日各保育園に土曜保育（実施予定5園中実施3園）の状況の確認と、月曜日開園へ向けて指示
- 15～16日、保育園では緊急活動隊（保育園等で職場へ参集した職員）により全園で雪かき対応。一部保護者会等の援助あり。緊急活動隊の手薄な1園には子育て職員2名を派遣

○今後に向けての課題、提案

- 地域防災計画の変更により、保育園緊急活動隊の廃止や地区拠点班への参集の廃止により、各課の分掌事務や参集態勢がはっきりした。

介護高齢課（長寿支援課）

○対応状況

- 直営施設（老人福祉センター、デイサービスセンター等）、指定管理施設（特養、デイサービスセンター）、養護老人ホームの雪害被害の状況、業務の状況を電話で確認
- 地域包括支援センターに連絡のあった雪害に関する相談についての情報収集実施

○今後に向けての課題、提案

- 今回の雪害では顕在化しなかったが、雪害により停電が長期化した場合に暖房が使えない世帯の発生、在宅で使用している医療機器、福祉機器に支障が生じ、生命や身体の安全に係る事案が発生することが予想される。こうした事態への対応は、世帯レベル、個人レベルであらかじめ対応策を取っておくことが求められる。こうした事態への対応を各家庭でも取っておくことの広報が必要

保健課

○対応状況

- 保健課所管施設の雪害被害等の状況確認（2/14 及び 2/15）
 - ・休日夜間急患診療所
 - ・三穂診療所
 - ・上久堅診療所
 - ・下久堅診療所
 - ・千代診療所
 - ・上村診療所
 - ・上村歯科診療所
 - ・飯田市健康増進施設・ほっ湯アップル
- 保健課所管施設に関し、施設が利用できるよう駐車場除雪作業を実施
 - ・休日夜間急患診療所（2/14 保健課 1 人出労、2/15 保健課 6 人出労）
 - ・三穂診療所（2/17 保健課 7 人出労）
 - ・上久堅診療所（2/17 保健課 7 人出労）
 - ・下久堅診療所（委託病院対応）
 - ・千代診療所（地元自治振興センター対応）
 - ・上村診療所（地元自治振興センター対応）
 - ・上村歯科診療所（地元自治振興センター対応）
 - ・飯田市健康増進施設・ほっ湯アップル（指定管理者が業者に依頼し対応）

○今後に向けての課題、提案

- 患者さんが、医療機関等を確実に利用できるよう、医療施設等の緊急性の高い施設へのアクセス道路について、除雪優先順位を上位にする必要がある。
- 毎夜間診察を行う休日夜間急患診療所については、診療時間の開始時刻までに除雪を終えなければならないため、業者のバックアップ体制を構築しておく必要がある。
- 保健課所管の診療関係施設等の駐車場については、それぞれの地域性等も考慮しながら、保健課、自治振興センター、関係機関などと除雪に関する役割分担を明確にしておく必要がある。
- 気象予測に基づく事前待機指示や雪かきの手順の事前打合せなどを行う必要がある。
- 今後、1 m 程度の積雪を想定し、所管施設のうち耐雪能力の低い個所を把握しておく必要がある（カーポートなど）。
- 積雪の状況によっては、除雪作業の動員招集がかかっても車を運転して参集することが難しいこともあるため、そうした事態を想定した対応策を検討しておく必要がある。
- 除雪作業に従事する職員は、滑らないような足元の装備を含めた安全確保への十分な配慮が必要である。
- 公用車駐車場の除雪については、各課が一斉に作業ができることが望ましいが、時間がずれる場合に、あらかじめ除雪した雪を集める場所を決めておけば、混乱を防げるのではないかと。

【教育委員会】**学校教育課****○対応状況**

- 学校施設の被害状況把握と修繕
- 各小中学校に対し除雪等による通学路安全確保の要請、登下校時の屋根落雪に対する注意喚起
- 各小中学校に対し校舎、体育館等の屋根からの落雪に対する注意喚起と、バリケード配置等による安全確保指示
- 17日（月）の市内小中学校及び飯伊地域の高校の日課等情報の把握と周知

○今後に向けての課題、提案

- 除雪した雪の置き場として学校（校庭）が候補になったが、除雪した雪には危険物（ガラスや金属片）等の混入の可能性がある。校庭は夏場に素足で児童生徒の活動が見込まれることから学校敷地は児童生徒の安全面に課題がある。
- 各小中学校では、教職員、保護者をはじめ地域の方々の協力により通学路等の除雪により児童生徒の安全確保を図ったが、小学校2校、中学校1校について安全面への配慮から17日（月）を臨時休校とした。各学校で安全確保の状況を的確に判断することが有効である。

生涯学習・スポーツ課**○対応状況**

- 社会体育施設の駐車場や通路の除雪作業を、職員及び管理人を動員して行った（全市利用の施設優先）。
- 屋外施設は休場とし、飯田市公式サイトに休場情報を掲載するとともに、既に使用許可を受けていた利用者に対しては個別に休場案内等の説明を行った。
- 県体育館等、屋根からの落雪の恐れがある場所に、バリケード及び注意喚起の看板を設置した。
- 愛宕蔵中蔵北側屋根から市道に落雪の危険性があったためバリケードによる通行止めを周辺住民の了解を得て実施。あわせて落雪注意の注意喚起（表示）を行った。
- 県宝旧座光寺麻績学校校舎の落雪による庇破損に際し、庇の落下防止措置とともにカラーコーンによる落雪の注意喚起を行った。

○今後に向けての課題、提案

- 豪雪時における除雪業者への市の除雪依頼窓口を一本化し、緊急度に応じた除雪作業が行える態勢を整備する必要がある。

飯田市公民館

○対応状況

- 伊賀良、山本公民館の屋根が雪の重みで破損したため、同じ積雪量にも耐えうるような強度となるよう補修した。補習が完了するまでの期間バリケードを設置して通行規制を行うことで、利用者の安全確保についての対応を行った。伊賀良公民館については、伊賀良小学校が隣接し通学路にも近いことから、学校長にも状況を伝え、安全確保について児童への対応も行った（補修費用合計 3,591,000 円）。
- 橋北、羽場、丸山、東野、鼎公民館の駐車場の除雪作業を地元建設業者に委託して除雪した（除雪費用合計 1,503,075 円）。

○今後に向けての課題、提案

- 飯田 5 地区（橋北、橋南、羽場、丸山、東野）の公民館駐車場の除雪について自治振興センターがあるその他の地区と同様に、まちづくり委員会などの地域団体の応援を頼めるような態勢づくり。

中央図書館

○対応状況

- 職員の早めの出勤と交代での除雪作業を実施（開館しながら）
- 16 分館の休館 16 分館長への連絡
- 中央・鼎・上郷図書館 14 時で繰り上げ閉館を実施
周知方法：ホームページ、いいだFM、ケーブルテレビ安心ホットライン、市役所当直者（近隣町村図書館は閉館処置を取ったところ多数）
- 施設被害 中央図書館の屋根の損傷等対応

○今後に向けての課題、提案

- 休館、閉館処置の基準、休館等の周知方法の検討
- 除雪した雪の処理（近場での雪捨場の確保）

美術博物館

○対応状況

- 初動の除雪作業は、職員が人力で行う。教育委員会職員の応援が加わり、美博駐車場 3 か所のうち、主要駐車場の 2 か所、歩道、美博入口までの通路確保
- 柳田國男館等の敷地、バス専用駐車場、本丸側の駐車場の除雪は随時行う。

○今後に向けての課題、提案

- 周辺アクセス道路の積雪状況及び駐車場利用可否等の情報提供

文化会館

○対応状況

- 文化会館・人形劇場
 - 15 日 10:00～16:45 業者による除雪、会館使用団体への連絡、職員対応
 - 15 日の文化会館利用中止（2 団体）
- 人形劇練習場
 - 16 日 大雪により建物軒先崩壊 立ち入り禁止措置
- 竹田扇之助記念国際系操り人形館
 - 15、16 日 大雪により人形館までの通路が通行不可能のため、臨時休館
- 川本喜八郎人形美術館
 - 15、16 日 団体客が予定されていたため、通常開館。出勤可能な職員のみで終日雪かき（結果、キャンセルとなった）。
- 黒田人形浄瑠璃伝承館
 - 雪の重みで施設が損壊するのを防ぐため、17 日に業者へ委託し屋根へサポートを行う。結果、損壊を防ぐことができた。

○今後に向けての課題、提案

- 近場での雪捨て場の確保
- 交通マヒ、交通事故等の危険防止のための外出自粛の PR(広報)
- 大雪が予報される際に、事前に施設を休館するかどうかの会議開催
- 損壊前にサポート等できる処置を行い、未然に防ぐことは必要

【飯田市立病院】**○対応状況**

- 輸血、薬剤、診療材料、食材等の備蓄状況を確認、規定の備蓄がされていることを確認した。
- 食材の納入については、仕入れ先が地元業者であり、予定どおりの納入がされ混乱は生じなかった。
- 14日（土）重機による除雪を委託している業者へ15日午前6時から除雪を依頼
- 15日（日）事務職員、シルバー人材センタースタッフと歩道等の除雪
重機による除雪は救急車の進入路を最優先に実施。外来駐車場の除雪実施
- 16日（月）重機による除雪を継続、雪の搬出も進め、職員駐車場の一部を来院者用の臨時駐車場とした。

○今後に向けての課題、提案

- 外来診療のない土日であったため、影響は少なく済んだが、平日であった場合を想定した対応方法の検討が必要と考えている。
- バス路線は優先的に除雪していると思うが、病院正面からアピタへ向かう信号の交差点までの除雪が遅れた。
- 豪雪の場合は人の手で除雪するには限界、歩道除雪用の雪飛ばし機が必要（小型除雪機は2台あるがパワー不足）

【市議会事務局】**○対応状況**

- 職員の非常招集による本庁舎駐車場・職員駐車場の除雪
- 被害状況の取りまとめ等を市議会議員へFAX一斉送信による情報提供

○今後に向けての課題、提案

- 機能的・効果的な除雪用具の事前配備
- 特に市街地における近場の雪捨て場を確保するための事前指定と周知

【選挙管理委員会事務局】**○今後に向けての課題、提案**

- 降雪期に選挙が実施される場合、投票所及び開票所周辺の除雪が必要となる、選挙管理委員会の判断により、投票開始時間の繰り下げや、投票終了時間の繰り上げの対応を考える必要がある。
- 除雪が必要な場合には、少人数で実施している投票事務従事者による除雪作業には限界がある、応援態勢を組む必要が生じる。

4 まとめ 【課題と対策】

(1) 道路除雪

【課題】

- ❖ 除雪指定路線以外の道路の除雪を早く行ってもらいたいとの声が、圧倒的に多かったが、どこを、いつ頃までに、誰が除雪するのが明確でなかった。

【今後の方針】

- ❖ 除雪指定路線については、降雪期を前に、国、県、市等の道路管理者間で、どのような状況の時に、どこの路線を、誰が除雪するかについて情報共有を行っているが、その情報を地域や市民に広く周知しておく必要がある。
- ❖ それを踏まえて、さらに通学路など地域内で除雪を必要とする路線については、予め地域で除雪活動を担うよう計画を立案しておく必要がある。

(2) 観測体制の強化

【課題】

- ❖ 積雪深と降水量の関係は、除雪態勢や廃雪等を計画する上で欠かすことのできない重要な情報である。気象庁のアメダス観測点である飯田特別地域気象観測所の降雨量が後日欠測となったことは遺憾である。
- ❖ 当日は、このような機器の不具合については予想できず、公表されている降水量を材料として、平成 13 年 1 月の大雪時よりも降水量が半分以下だったことから、軽い雪、住宅等の建物倒壊の恐れはないと判断している。このため災害警戒本部から災害対策本部への移行は行っていない。

【今後の方針】

- ❖ 今回の大雪では、雨量計のカウンターが故障していたとのことであり、日々の点検や保守を長野地方気象台に促していく必要がある。
- ❖ こうした事態は、気象台だけでなく、河川の水位データの計測などを行う関係機関でも起こりうることであり、機器を管理する県などの関係機関に対しても働きかけを行っていきたい。

(3) 公共交通機関の開通見通しの公表

【課題】

- ❖ いずれの公共交通機関も“いつ頃開通するか”又は“いつまでは開通できない”といった情報が開示されなかった。このことは、遠地で足止めとなった者や出張や旅行等を予定する者にとっては、不安を増大させる要因となる。各交通機関において除雪等に最大限尽力いただいていることは十分に理解できるが、何らかの見通しを示すことは、利用者に対する配慮として必要と思われる。

【今後の方針】

- ❖ 今回の大雪では、市が関係する路線バス（市民バス）については、一部の路線を除き継続して運行したため課題となっていないが、利用者への配慮について万全を期す必要がある。
- ❖ 高速道路、鉄道等については飯田市のみならず他自治体においても、同様の課題が生じているものと推測できるが、改善について県を通じて、関係機関に対して求めていく必要がある。

(4) 火災・救急患者発生時の対応

【課題】

- ❖ 大雪時に最も懸念される課題は、除雪の遅れ等に起因する、消火及び救急活動の遅延である。通常であれば守られる命が、降雪を原因として失われることは避けなければならないことである。
- ❖ 幸いにも今回の大雪においては、こうした事態は発生していないが、今後に向けた課題として位置付けたい。

【今後の方針】

- ❖ 各地域において、事前に除雪路線の確認を行っておく必要がある。
- ❖ また、助け合いマップなどを活用し、災害時要援護者又は避難行動要支援者について、誰が誰を支援するかを確認しておく必要がある。
- ❖ あわせて、降雪が予想される際の消火栓等の消防水利周辺の除雪作業の呼びかけや地域の除雪計画への位置づけ等も行なっていく必要がある。

(5) 中央自動車道の長期間通行止め

【課題】

- ❖ 現在の私たちの生活（経済活動も含めて）は、高度にシステム化された物流によって支えられていると言っても過言ではなく、今回の中央自動車道の通行止めは、市民生活に大きな影響を与えた。
- ❖ 14日（金）午後から中央自動車道が全線で通行止めとなったが、16日（日）朝には名古屋方面との通行が可能となった。これにより東京方面からの移動者が、名古屋を迂回して流入してくることが可能となった。これらは1週間前の降雪時と同じ状況でありその教訓が生かされたものと推測される。
- ❖ 中日本高速道路会社においても、平成13年1月の大雪以降除雪態勢の強化及び気象情報会社と連携した降雪予測に基づく対策が行われていることが奏効していることが推測される。
- ❖ 燃料系の供給に関しては、甲府市、松本市、四日市市等から主に供給されているが国道153号線による供給が継続できたことから大きな影響は生じなかった。
- ❖ コンビニエンスストアについては、すべてのフランチャイズで配送のみならず材料の調達もできないという影響を受け、弁当等の食糧供給が中央道全開通までの間滞った。

【今後の方針】

- ❖ 中央自動車道の通行止めによる地域経済・社会への影響は大きいことから、交通管理者や道路管理者等の関係機関に対して、県及び関係市町村が一体となって、一刻も早く通行止めを解除とするとともに、開通見通しを公表すること等を要望する。
- ❖ なお、平成26年2月20日、長野県市長会より、長野県関係国会議員18名に対して、交通網等のインフラの迅速な復旧、道路や鉄道の除雪等に関する広域応援体制の整備、市町村道の除排雪経費に対する特例措置等について、緊急要望を行った（平成26年2月大雪被害対策に関する緊急要望書）。
- ❖ 物流が止まることによる生活への影響については、大雪に限らず、大規模な交通事故、劇毒物の流出事故、地震災害でも同様の状況になることが予測されることから、各家庭や事業所における7日以上の備蓄の推進、車等の燃料についても半分になったら補充をする習慣をつけるなど、地域社会の基本ルールとして定着するよう、平時から強く呼びかけ等を行っていく必要がある。
- ❖ 当地域における血液の搬送については、諏訪血液センターからの供給を受けているが、県内高速道路が不通の場合には、愛知県からの供給が行われている。不測の事態に備え、日本赤十字社と供給体制（空輸）についての事前の検討が必要と思われる。

(6) 職員参集態勢の明確化

【課 題】

- ❖ 市職員の参集に関して、積雪量に応じたわかりやすい基準は設けていなかったものの、平成 22 年策定の「雪害対応マニュアル」を基に職員招集を行ない、人命に関わる災害時要援護者への安否確認や食料等の有無の確認等の対応を行った（平成 26 年 3 月 24 日付けで積雪量に応じた職員参集基準変更済）。
- ❖ 一方、除雪を要望する声が多数寄せられ、接受にあたった土木課職員が対応に苦慮する状況となった。
- ❖ 業務継続の観点から、庁舎周辺の除雪作業のために職員を動員することとなったが、除雪資機材が圧倒的に不足しており、職員が自宅から持参する状況であった。また、職員もすでに自宅周辺等の除雪を長時間行っており、その体力的消耗も著しかった。

【今後の方針】

- ❖ 災害対応においては、職員の所属意識をできるだけ抑えて、オール飯田市として、様々な業務に対処することが最も重要である。
- ❖ また、職員態勢については、その業務量に応じて、市民の声を専門に受け付ける担当を置くことや、問合せへの対応、現場情報集約を適切に行えるマンパワーを早期に招集・配備することが必要である。
- ❖ そのためにも、状況の変化に応じ災害警戒本部から災害対策本部に組織を格上げし、本部長の強いリーダーシップによる指揮統制を行うことが肝要である。
- ❖ 市関係施設の除雪については、市全体の除雪車両や作業従事者が限られている状況下、その対応には限界があるものと推察される。
- ❖ 積雪量に応じた除雪態勢（除雪タイミング、除雪場所、人員配置）を予め定めておくこととともに、シーズン前には、必要となる資機材を用意しておくなど、備えに万全を期すことが必要である。

(7) 地区除雪計画の策定と体制整備

【課題】

- ❖ 今回のような想定を超える大雪では、除融雪指定路線以外の除雪も必要となった。除融雪指定路線以外の除雪は、多くの市民の除雪活動、個人所有の除雪機材の使用により行われた。

【今後の方針】

- ❖ 除融雪指定路線以外の除雪については、地域において除雪計画を立案し、対処してもらう必要がある。
- ❖ このため、道路管理者が行う除雪に関する情報を地域で把握できるよう情報共有を図っていく必要がある。
- ❖ 各地域においては、除雪資機材や対応できるマンパワー（組織を含む）を事前に把握し、いつ、誰が、どこを（どこから）除雪するかを定めておくことが必要であり、市としては、コミュニティ助成事業による除雪機の購入や共同利用の例も踏まえながら、各地区の除雪計画の策定を支援していく。

(8) 災害時要援護者対策

【課題】

- ❖ 対象者への電話連絡による安否確認や食糧の状況把握等については、民生委員・児童委員を通じて迅速に行うことができた。今後は、除雪依頼等が想定される。

【今後の方針】

- ❖ 飯田市内の建築物は、概ね積雪量 60 cm（簡易な車庫等は 30cm）程度までは耐えられるように設計されており、これを超える積雪深の場合は、個人宅の除雪作業が生じてくる。地域におけるボランティアの募集や、飯田市社会福祉協議会によるボランティアセンターの開設も視野に入れていく必要がある。

(9) 排雪対策

【課 題】

- ❖ 今回のような大雪の場合は、民地にも雪を置く場所がなくなるため、公設の雪捨場を確保する必要が生じる。
- ❖ 今回の大雪時には、飯田市雪害対応マニュアルに基づき、2月15日午後の災害警戒本部の決定を受け、施設管理者と協議の上、各地区に対して、必要に応じて市内小中学校グラウンドに雪捨場を設置するよう指示を行った。
- ❖ 結果的に、小中学校グラウンドに雪捨場を設置する地区はなく、2月17日の災害警戒本部の決定を受け、天竜川河川敷に雪捨場を設置した。
- ❖ 雪捨場の開設の公表後は、多くの問い合わせが寄せられ、市民及び事業所からの雪が持ち込まれた。
- ❖ 市街地では、市道に堆積する雪を自分たちの費用で業者に処理を依頼した商店街も存在した。その自立した取り組みを市が行なっていると受け取るケースもあり、そうした誤解による混乱も一部にはみられた。

【今後の方針】

- ❖ 雪捨場の確保については、事前に河川管理者及び施設管理者等に了解を得るなど事前の策をとるとともに、その情報を広く共有しておく必要がある。
- ❖ また、今回実施した緊急的な仮置き場（中央公園の一部）と同様、除雪作業の迅速化のため（雪の運搬や雪とともに持ち込まれる廃棄物の処理等も考慮しつつ）、状況に応じた市有施設の運用についても考えていく必要がある。

(10) 罹災証明書の発行

【課 題】

- ❖ 2月17日の災害警戒本部会議における、迅速な罹災証明書の発行を行う旨の決定を受け、発行にかかる現地確認を写真貼付による確認とするなど申請手続きの簡略化を行なったことにより、窓口での即時発行を実現した（前例なし）。

【今後の方針】

- ❖ 今回は、危機管理室で一切の対応を行い、課税に影響を及ぼす家屋のみ税務課とともに現地調査を実施した。
- ❖ 大規模な災害発生時には、税務課及び市民課で罹災証明書を発行することになっており、同様の対応ができるよう関係職員の研修及び訓練を行っていく必要がある。

大雪に関する対応検証報告書

～平成26年2月14日～15日の大雪の状況と対策について～

■発行日 平成26年6月20日

■著作・編集 飯田市 危機管理室

〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534番地

TEL : 0265-22-4511 FAX : 0265-24-9316

E-mail : bousai@city.iida.nagano.jp

URL: <http://www.city.iida.lg.jp/>

※本書の内容の一部あるいは全部を複写、複製、引用する場合及びホームページ等にリンクを張る場合は、上記の著作・編集宛にご一報ください。
